

近年神奈川県に侵入してきた外来種で、その名の通り竹に孔を開けて巣を造ります。よく見る在来のカマバチ（キムネカマバチ）とは、雌雄とも胸部に黄色い毛が無いことで、一目で区別できます（ただし、タイワンタケクマバチのオスには白い毛がある）。カマバチと同じような場所で見られますが、オスの習性は異なるようで、カマバチが目立つ場所でホバリング（※）するのに対して、タイワンタケクマバチは木の周囲など、あまり目立たない場所でホバリングするようです。本種はまだ大井町からは未発見ですが、中井町や小田原市など周辺地域で発見されており、飛翔力が高い昆虫であることから、大井町で発見されるのは時間の問題です。私の予想では今年中に発見されるのではないかと考えています。

神奈川県立生命の星・地球博物館学芸員 渡辺 恭平

※ホバリング＝空中の定位置で飛び続けること



アベリアの花で蜜を吸う  
タイワンタケクマバチのメス



◀おおい自然園HP  
大井町の動植物や虫、  
石、自然観察会の結果  
などを掲載しています。



◀自然NOWへの投稿  
町内の身近な自然情報  
をお待ちしています。  
※撮影は横位置で